

様式 A-1
(FY2018)

平成 30年 7月 2日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 福井県立藤島高等学校 門前秀洋
2. 講師氏名: Dr. HAINEY, JR., M. F.
3. 講義補助者氏名: なし
4. 実施日時: 平成30年 6月 22日 (金) 16:40 ~ 17:50
5. 参加生徒: 3年生 1人、 2年生 3人、 1年生 13人 (合計 17人)
備考: (例:理数科の生徒) 普通科の生徒
6. 講義題目: 結晶構造について
7. 講義概要: 結晶の生成過程、構造、実社会への応用など
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 50分 質疑応答時間 20分
 - 2) 講義方法 (例:プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義、実験
 - 3) 事前学習
⑥ ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 講師から送付された文書
9. その他特筆すべき事項:

様式 A-4
(FY2018)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(生徒の理系分野への興味関心を高めること、進路選択の一助とすること)

2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
- 1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
- 2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()

打ち合わせ内容を教えてください。
(講義内容、準備物、交通アクセス など)

3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
- 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。

4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
- 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。

5. 事前学習は行いましたか？
- 行った(具体的な内容:)
 行わなかった

6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
- 化学についての興味関心を高められた。
講師が所属する大学へのオープンキャンパスに参加したいと考える生徒が出てきた。

7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
- 良かった 普通 良くなかった

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。

決勝の実物を持参してくれたことで、目に見える形で結晶について知ることができた。
プレゼンテーションも非常に分かりやすかった。

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
- 生徒の知的好奇心を大いに刺激していただける企画として、大変ありがたく思っている。

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
- 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない

*ご協力ありがとうございました。